

# 寿

# にこにこ

前原病院 広報誌

発行日 令和4年1月1日

医療法人 慈生会 前原病院

院長 前原 弘江

## 慈生会の理念

### 慈愛の心

- 一、すべての人の人生を平等に大切に考えます。
- 一、私達はどんなときにも出会う全ての人に笑顔とやさしい言葉で接します。
- 一、私達は地域との連携を図り、患者様の社会生活を支えます。
- 一、日々新しい知識・技術の習得に努め、自らの成長のためにチャレンジを続けます。
- 一、職務を通して人間力を磨くとともに、多職種で協力し、組織の一員としての役割を果たします。
- 一、笑顔で働きがいのある職場造りに努めます。

## 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。



慈生会前原病院  
理事長 前原 敬悟

2022年を迎えました。

新型コロナウイルスとの闘いは、2019年末に中国武漢で発生して、ついに3年目を迎えます。まさに人類の第3次世界大戦となってしまいました。この原稿を書いている今日このごろ、広島県では新規感染者の発生がゼロの日10日連続となっています。そして対新型コロナワクチンの3回目の接種も始まりました。しかし、一方では、日本の防衛最前線である空港検疫で12人目のオミクロン株が検出され、2020年ダイヤモンドプリンセス号から数か月で日本全土に広がった新型コロナウイルスの悪夢の再来が懸念されます。

そのようなコロナコロナで2年間が過ぎましたが、私たちはその中で生き抜いてきました。慈生会では前原病院、くつろぎ苑、デイケアどっこい所でも感染患者やクラスターの発生がなく、耐えてきました。そして、外来・入院患者さんに対する診療業務は粛々と実施されました。職員の皆さんの日々の努力のおかげです。

さて、今年は慈生会で看護・介護に当たる職員の皆さんに挑戦とマスターを望んでいます。ノーリフトアップケアを実行して職員の皆さんから腰痛の悩みを払拭したいと思っています。また、王子町の旧病院の建物に看護小規模多機能ホームの開設を計画、準備中です。1階には認知症サロンなども考えています。慈生会はさらに進化していきます。よろしくお願いいたします。





慈生会前原病院  
院長 前原 弘江

## 謹賀新年

今年の夏は、賛否両論ありましたが、東京オリンピックが開催され、結局私も例にもれず、日本のメダルラッシュに楽しませてもらいました。しかし、その後からの新型コロナウイルス感染者急増…。福山市においても1日の感染者数が80人を超えた時には、福山市の医療崩壊が現実になるような怖さを感じました。それも徐々に収束し、この原稿を書いている2021年12月、一時鳴りを潜め、福山市、広島県ともに感染者0を更新しています。2021年は新型コロナウイルスワクチン接種に迫られた1年だったように思いますが、それも今の状況を迎えるためだったのかなと考えれば、私たち医療従事者も協力頂いた地域の皆さんも頑張った甲斐があったのかな、と思えます。一方では変異株のオミクロン株も徐々に拡大してきている様相です。新年がどのようになるかまだわかりません。当院では、新型コロナウイルスの3回目ブースター接種を1月中旬より開始していく予定としています。オミクロン株は、WHOによると感染力は強いが、毒性は弱いのではないかという話もありますが、未知の部分もまだまだ多い株です。ワクチン接種と感染対策により、ウイルスと共存して経済活動が行える世の中になるよう、祈るばかりです。

閑話休題、昨年からのコロナ可禍で一つ気になっていることがあります。この2年間、当院で初診の患者さんに、進行がんが見つかるケースがいつもの年に比べて目立つ気がします。よく聞くのが、何ヶ月か前からちょっとおかしいなと思っていたけれど、放っていたら悪化して受診したというケースです。昨年4月ごろは、新型コロナウイルスの影響で受診控えがあり、その影響も一時はあったかと考えられますが、検査時の感染対策はどの医療機関も十分にされているので、おかしいなと思ったらすぐ受診しましょう、そして、デーモン閣下も言われているとおり、2022年は、是非がん検診を受けましょう。



11月11日木曜日、小集団活動（TQM）の発表会を開催しました。今年も「外来・地連」「放射線部」「3階看護師」「医事課・運営企画室」「くつろぎ苑」「薬剤部」「2階看護師」など9チームが参加し、スムーズな検査、面会の大切さ、オンライン診療にむけて、減薬の効果、ベトナムの研修生の頑張り、正しい介護姿勢など、他部門の働きと努力がよくわかる発表会でした。1位は2年続けて医事課・運営企画室が獲得しました。





11月4日木曜日、3階病棟で秋祭りを行いました。COVID-19感染予防のため祭りに参加される患者様は、一度に2~3人までの制限を設け実施しました。綿菓子やたこ焼き、アイスなどの食べ物のほかに、何が当たるかな（紐を引っ張った先の景品が当たる）ボールビンゴ（繫げた紙コップに向けてゴムボールを転がす）、ウイルスバスター（空気鉄砲で積み重ねた紙コップを倒す）、流れるおもちゃの金魚すくいなどの新しいゲームを職員が考え、チームワークの良さが光るお祭りでした。



スタッフの中でも一番元気なベトナムからの研修生のお二人、患者様からも大人気です。綿菓子に故郷を思い出す一コマもありました。

12月17日金曜日、「ハートベル ホスピス」のクリスマス会が3階多目的室で催されました。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、小規模で行うこととなりました。まずは、職員によるハンドベルの演奏で「きらきら星」「きよしこの夜」を、その後、皆のサンタさんの呼び声で、古口 Dr.サンタの登場、クリスマス会は一層盛り上がりしました。古口 Dr.サンタは患者様一人ひとりに笑顔でプレゼントを配り、名残惜しいけどフィンランド<sup>②</sup>に帰り、患者様はクリスマスケーキを召し上がられました。



12月23日木曜日、2階病棟でクリスマス会を開催しました。2階の会場はツリーやモールで飾り付けられ、職員がハンドベルで「きよしこの夜」を研修生のチャンさんやフェさんも猛特訓をして、演奏に参加、その後のアンコールは患者様と一緒にハンドベルを鳴らし、歌を口ずさむ方も、笑顔に溢れたクリスマス会でした。



～お知らせ～

※毎週月曜日 10時から(祝祭日は除く)無料のリハビリ教室を行います。

☆予防接種は、予約制となっております。

☆健康診断は随時。

☆前原病院人間ドックは、ご希望に合わせてメニューを組むことができますので、ご相談下さい。

☆特定健康診査、乳癌検診、福山市がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)実施医療機関です。

前原病院  
の概要

1日平均外来患者数：44人

令和3年11月現在

平均入院日数：療養病棟 180日、地域包括病棟 26日、緩和ケア病棟 34日

1日平均入院患者数：療養病床 31人、地域包括病床 11人、緩和ケア病床 10人

内科・胃腸科・放射線科・緩和ケア内科・リハビリテーション科  
慈生会 前原病院

※福山市手城町一丁目 3-41 TEL(084) 925-1086 FAX(084) 923-4504

診療受付時間

午前 8:30~12:30 / 午後 15:00~17:30  
※木・土曜日午後、日曜日、祝祭日は、休診です。



<バスでお越しの方>

中国バス：鋼管方面行き

バス停「千間土手西」下車、南へ徒歩3分

<車でお越しの方>

国道2号線を岡山方面へ進み、

「千間土手西」交差点を右折

☆多編集後記☆

「おめでとう」は愛で甚し(めでいたし)が語源です。美しいもの、素晴らしいもの、かわいいものはなほだしいという意味です。喜ばしい、美しい、見事だ、美味しい等、祝福を言葉として定着した言葉です。 広報誌編集部一同

